

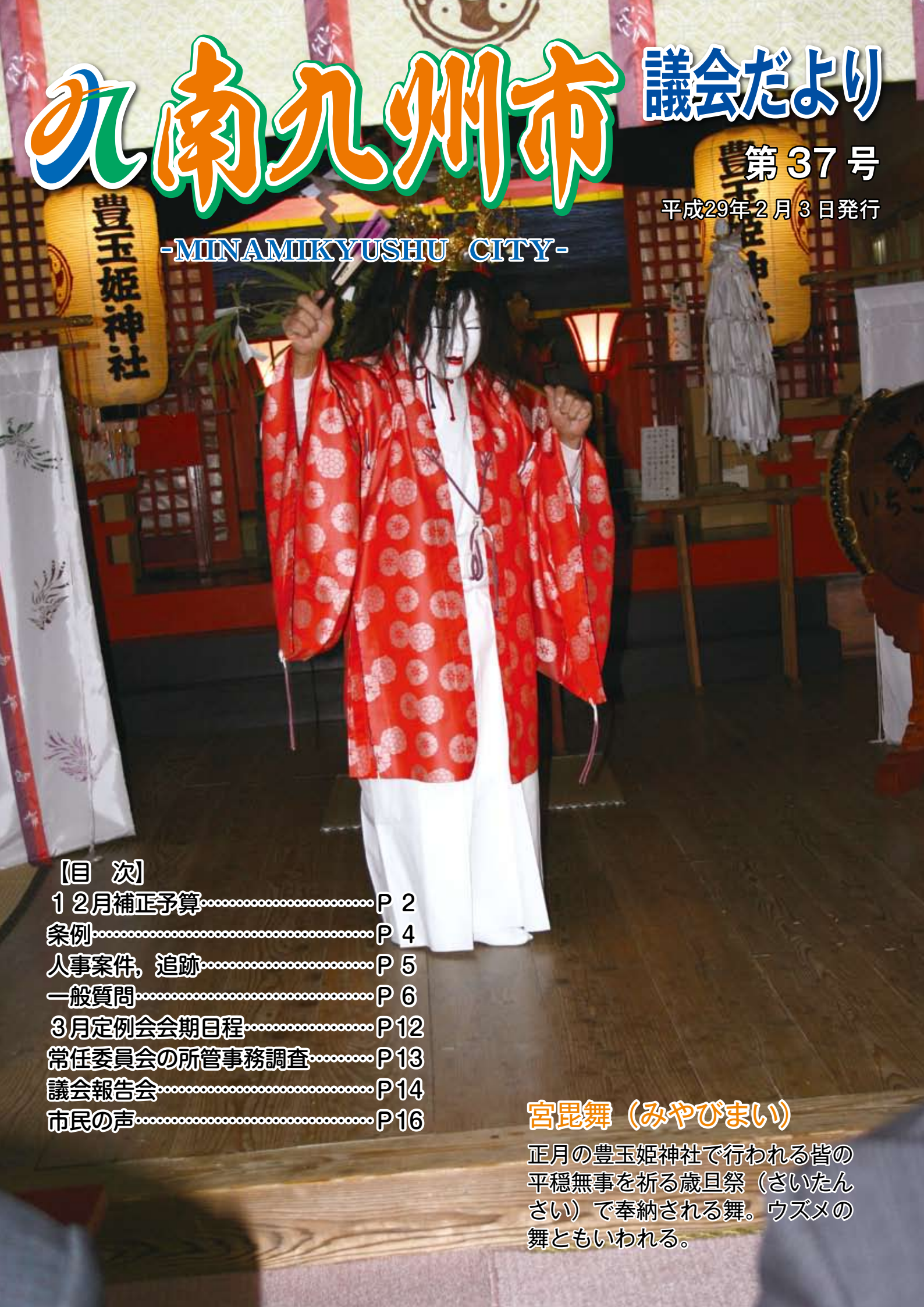
みなみ九州市

議会だより

第37号

平成29年2月3日発行

-MINAMIKYUSHU CITY-



【目次】

1 2月補正予算	P 2
条例	P 4
人事案件、追跡	P 5
一般質問	P 6
3月定例会会期日程	P12
常任委員会の所管事務調査	P13
議会報告会	P14
市民の声	P16

宮毘舞（みやびまい）

正月の豊玉姫神社で行われる皆の
平穏無事を祈る歳旦祭（さいたん
さい）で奉納される舞。ウズメの
舞ともいわれる。

など補正

12月定例会

補正後予算総額 230億7161万円

12月定例会は、12月8日から22日までの15日間の会期で開催されました。

補正予算をはじめ条例の制定や一部改正などが審議され、補正予算については、一部修正し可決、その他は原案どおり可決されました。また、発議1件が提出されましたが否決となりました。

一般会計の主な補正

総務費

さばいやらせ南九州市ふるさと基金費

1600万円

ふるさと納税の申込窓口の追加により、増収見込み分を基金に積立増額するもの。

企画費

1063万5千円

ふるさと納税の申込みをインターネットショッピングモールである楽天を通して、受付することに伴う手数料等の経費。

審査の中で

問 手数料等の内訳は。
答 手数料は最大で14%で、返礼品が50%、市への基金積立が36%である。

民生費

年金生活者等支援（低所得高齢者）給付金事業費

▲3256万円

事業完了に伴う不用額の減額。

審査の中で

問 多額の不用額が生じた要因は。
答 当初見込んだ人数が、市外の人の扶養に入っていたり、未申請者があったことによる。
問 申請者の送付先は。

答 対象者全員に申請書を送付し、未申請者には再度通知を行った。

臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業費

1億8230万8千円

力強さに欠ける消費の底上げを図り、社会全体の所得の底上げを図ることを目的に、低所得者に給付するもの。

審査の中で

問 対象者数と支給計画は。

答 支給対象者は1万1600人で、29年度支給を予定している。

農林水産業費

担い手育成対策事業費

1億151万5千円

①経営体育成支援事業
トラクター、乗用型茶園防除機などの導入に伴う補助金の増額。
②担い手確保・経営強化支援事業
トラクター、乗用型茶園管理機などの導入に伴う補助金の追加。

③農業施設復旧支援事業
台風16号により被害を受けた農業施設の復旧支援に伴う補助金の追加。

活動火山周辺地域防災営

農対策事業費（茶業）

7341万1千円

茶生葉洗浄脱水機一式及び摘採機能付き降灰除去機7台の導入に伴う補助金の増額。

産地パワーアップ事業（茶業）

1億6078万8千円

荒茶加工施設碾茶等製造機一式の整備に伴う補助金の増額。

畜産クラスター事業費

3億6590万6千円

家畜排泄物堆肥化処理施設3基及び鶏舎1棟と堆肥舎及びバンカーサイロの整備に伴う補助金の増額。



家畜排泄物堆肥化処理施設



茶摘採機能付き降灰除去機

一般会計補正額 9億6797万円

社会資本整備総合交付金
(地域住宅支援) 事業費
7018万9千円
公営住宅山田比良団地
(2・3号棟)の外壁改
修等に要する経費。

7018万9千円

公営住宅山田比良団地
(2・3号棟)の外壁改
修等に要する経費。

改修が進む公営住宅山田比良団地

住宅管理費

540万5千円

市営住宅の台風災害関連等の修繕料及び委託料。

台風16号の被害に対し、新たに災害復旧費が計上されました。図は、国庫補助分に係る道路・河川災害の位置を示してあります。

公共土木施設災害復旧費
(道路・河川など)

3557万3千円

農地等災害復旧費

(農地・農道・農業用施設など)

2934万5千円

林道災害復旧費

800万5千円

文教施設災害復旧費
(知覧武道館など)

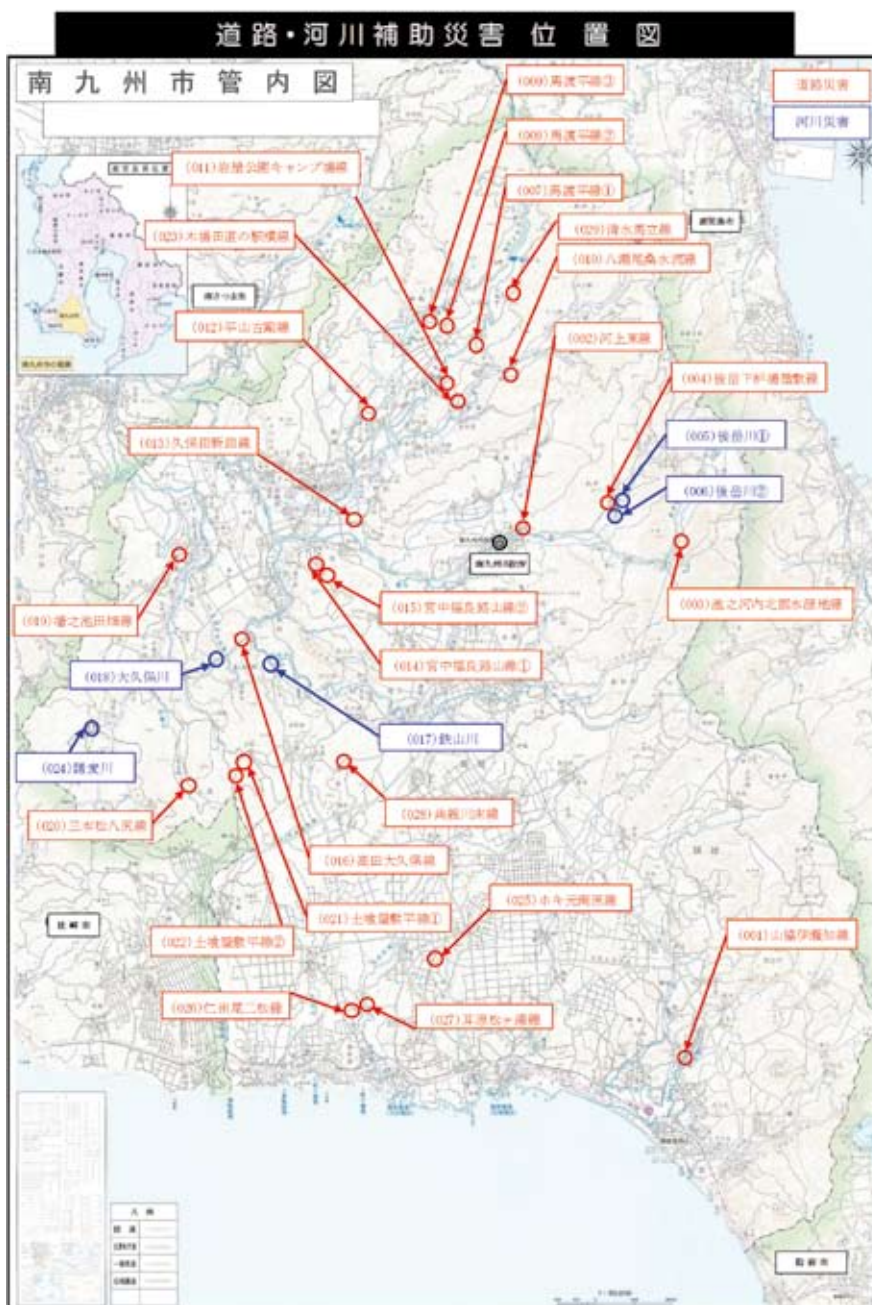
100万3千円

その他災害復旧費

(里道・水路など)
587万9千円



台風16号で崩落した河川



条例の制定・改廃

南九州市農業委員会の委員及び南九州市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

農業委員会等に関する法律が一部改正されたことに伴い、農業委員会の委員定数を35人から20人として選挙から市長任命に改正し、新たに南九州市農地利用最適化推進委員20人を農業委員会が委嘱する。

南九州市家庭教育支援条例の制定

子どもの育成に関し、家庭教育を支援するための基本理念を定め、保護者、学校、地域社会、事業者及び市の役割を明らかにし、すべての子どもの健やかな成長に寄与するため条例を制定

南九州市公民館条例等の一部を改正

各地区公民館及び各校区公民館の名称を地区公民館に統一並びに各公民館の館長及び書記に係る報酬を変更することによる条例の一部改正

南九州市一般住宅条例等の一部を改正

单身者用一般住宅の入居者資格（勤務先が市内にある者を削除）を緩和すること及び両添住宅8号を用途廃止したことによる条例の一部改正

南九州市立児童館条例の一部を改正

第2児童館を閉館することによる条例の一部改正

南九州市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正

改正案否決

人事院勧告による国家公務員の給与水準の改定に伴い、議員の期末手当を改正するもので改正案は否決された。

その他の条例

- ・南九州市長等の給与等に関する条例の一部を改正
- ・南九州市職員の給与に関する条例及び南九州市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正
- ・南九州市税条例及び南九州市国民健康保険税条例の一部を改正
- ・南九州市川辺農村環境改善センター条例等の一部を改正
- ・南九州市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正

請願／継続審査

受動喫煙防止のための取り組みについて

提出者 日置市伊集院町 涉 秀憲
紹介議員 大倉野 由美子

非喫煙者が他人の「タバコの煙」を吸わされる「受動喫煙」による健康被害が問題となっている。市当局は、喫煙による健康被害の周知に努め、飲食店やその団体等に対し施設の禁煙化を啓発し「タバコの煙のないお店」への登録を進めること。

発議／否決

南スーダンへの新たな任務で自衛隊を派遣することの中止を求める意見書

提出者 南九州市議会議員 大倉野由美子
賛成者 南九州市議会議員 内園 知恵子

南九州市は「平和を語り継ぐ町を宣言」し、二度と戦争しないことを誓っている。若者のいのちを大事にすることこそ地方自治体の任務であり、「駆けつけ警護」など新たな任務を持ったPKOへの自衛隊の派遣の中止を求めるもの。

人事案件

◆南九州市固定資産評価審査委員会委員◆

任期は平成29年1月8日から平成32年1月7日まで



福元 文治 氏
 穎娃町 牧之内



射手園 郁男 氏
 知覧町 郡



有水 秀男 氏
 川辺町 野間

◆南九州市教育委員会委員◆

任期は平成29年1月8日から平成33年1月7日まで



蔵元 ゆり子 氏
 知覧町 郡

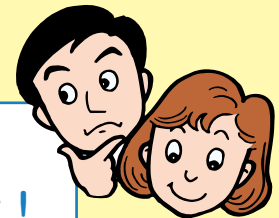
追跡 あや、どげんなったけ??

一般質問

ふるさと納税について

3議員が
 質問

ふるさと納税の専任職員の配置を！
 ふるさと納税の受付サイトを増やせ！



ふるさと納税専任職員が配置された サイト窓口を増やした（ふるぽ・楽天など）

●本市は10月3日からふるさと納税を大幅リ
 ニューアルし、2016年12月現在、43企業か
 ら214種類の商品が出品されています。

市外にお住まいのご親族やお知り合いの方
 に、ぜひ声かけをお願いします！！



市民の声を 行政に問う

一般質問 12人が登壇

議会会議録はこちらでご覧になれます。

- ◎校区・地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎ホームページ（南九州市）

市長 市の特別職の非常勤職員、臨時職員などの嘱託職員はH26年度から有給休暇の付与、H28年10月から県最低賃金引き上げに伴う時間単価の引き上げを実施。H29年4月から通勤手当相当額の支給を行う。

教育長 児童生徒数の減少の中で就学援助費の受給者は増加傾向である。所得基準引き上げは、生活困窮者援助制度の趣旨から外れる。厳しい財政状況で難しいが、近隣

大倉野 市の職員は正規職員、非正規職員にかかわらず、労基法のもとでは「均等待遇」は当然だ。H26年7月4日付けの総務省「公務員部長通知」に基づく南九州市での具体化と実施時期を問う。

大倉野 子どもの貧困が、今深刻な社会問題である。「憲法が定める教育費は無償」の立場で、だれもが安心して学べるように「就学援助制度」の受給対象者の所得基準の引き上げの考えはないか。



大倉野由美子 議員

**子育て支援
就学援助制度改善を
教育長／近隣市との格
差無くすよう
努力**

市嘱託職員 待遇改善

労働条件の改善を問う
市長／臨時・非常勤職員の任用、勤務条件、服務など必要な対応を図る

市との格差をなくすよう努力する。
新入学学用品費の申請は4月以降学校でとりまとめるため、入学時の支給は現状では困難。
その他の質問
・市民の声を市政に生かす。



給食センター

統合開設した

センターの効果は

教育長／管理運営費全体の経費削減が図られている



吉永 賢三 議員

名のうち26名が地元である。

高齢者給配食サービスの事業の成果は

市長／安否確認の実績もあり当該サービスは十分貢献している

【吉永】

高齢者給配食サービスの事業の成果をどのように分析しているか問

【吉永】 施設の老朽化や衛生管理基準の観点、管理運営費の合理化や経費削減を図るため、学校給食センターを開設した。運営費や地元雇用など、

統合した効果について見解を問う。

【教育長】

統合前の平成22年度決算と統合開設後の平成27年度決算を比較すると、管理運営費全体で約890万円の経費削減が図られている。

地元雇用は、開設当初から優先して行っている。現在、調理業務従事者39



学校給食センター

う。

【市長】

利用者は過去3年間でほぼ横ばいで推移している。今後も一定数の利用が見込まれる。安否確認の実績もあり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるので、十分貢献している。

【吉永】

平成29年度給配食委託事業を行わない事業者があると聞く。今後の対応を問う。

【市長】

市内4事業所のうち3事業所は、継続を確認している。新規の業務委託事業所が必要であり、事業参加希望者と協議をしている。

給食センター運営

地元食材を増やし、

安心安全な管理体制を

教育長／生産部会を設立し、安心安全な給食を提供する



伊瀬知 正人 議員

を提供するためには、学校給食衛生管理基準及び給食センター運営要綱を遵守し、業務を行う中で問題はないか。

【教育長】

各学校とも連携を図り学校給食衛生管理基準、アレルギー対応マニュアル、異物混入対応

【伊瀬知】

28年度の食材納入業者は38業者で、そのうち南九州市内の業者は17業者となっており、野菜類が全体の41%、果実類が47%、米が45%で、いずれも南九州市産の納入は50%を割り込んでいる状況であり、今後品目ごとの納入グループを推進指導する考えはないか。

【教育長】

地元食材を供給できる生産部会を設立し、可能な限り拡大できるように働きかける。

【伊瀬知】

安心安全な給食



学校給食で使用する地元食材

マニュアルに基づき安心安全な給食の提供に努めている。

【伊瀬知】

学校給食費については私会計となっており、健全な運営がなされているか。

【教育長】

給食センター運営委員会による予算、決算の審議、監査及び要綱に基づき公会計に準じた会計処理を行い、健全な運営がなされている。

学力向上

小・中学生の学力の 現状・課題対策は

教育長／基礎的・基本的な知識・技能は概ね定着、活用力が若干弱い



川畑 実道 議員

川畑 全国学力調査の結果はどうか。

教育長 基礎的・基本的な知識・技能は概ね定着、活用力が若干弱い。小学6年では、全国・

県と比較して全体的に若干低い。中学3年では、全国より若干下回っているが、県平均より若干上回っている。

川畑 市としての対策はどのように行っているか。

教育長 「確かな学力」を定着させるには授業改善が必要であり「南九州市スタンダード」を示し

た。

川畑 授業改善に、新しい取り組みはないのか。

教育長 「なぜ？」「どうして？」という児童生徒の興味・関心を活かした問題解決的な授業や話



小学校の授業の様子

し合い・学びあい活動の「アクティブ・ラーニング」等を取り入れた授業展開を行っている。

川畑 ICTの活用はどのようになっているか。

教育長 電子黒板やタブレット（全校的にタブレットに更新していく予定）を活用している。

他に、市の研究指定校の指定を実施する予定である。

現代版 寺小屋

本市の小中高生を対象に 創設する考えは

教育長／地域社会全体で支援していくことが必要



大久保 太智 議員

大久保

空き店舗や空家を活用し、放課後小中高生が集い、異年齢間の縦の繋がり場の場を提供する考えはないか。

教育長 「地域子ども教室」を開設し、学習やレクリエーション活動に取り組んでいる。

大久保 本年4月に制定された企業版ふるさと納税を利用し寄附を募るため、地方創生事業を活用し、地域再生計画を立案し国に申請を行う考えはないか。

教育長 国や県の施策に

も注視し、現在の取り組みをより確かなものとして継続し、更に充実していく。

ふるさと納税のPRについて

市長／積極的に推進し認知度向上に努める

あなたの「ふるさと」になりたい
ふるさと納税は南九州市へ

ふるさと南九州市をお届けします。

かわなべ牛 知製茶 黒豚餃子 焼酎 正芸品 安納芋 茶葉豚

ふるさと納税のPR

ふるさと納税のPR

大久保

市長・市職員・我々議員を含め広告塔となり、PR活動に取り組む考えはないか。

市長 今後とも市長、職員が一元となって、ふるさと納税のPR活動を積極的に推進する。

大久保 今後、大幅な増額が見込める歳入はあるか。

市長 今のところ、ふるさと納税以外の増額が見込めるものはない。

太陽光発電

施設整備に関して 条例等を制定する考えは

市長／ガイドライン等の制定に向け協議中



内園 知恵子 議員

内園 太陽光発電パネル設置により、景観が損なわれたり降水による水害等が予想される。本市はすでに太陽光発電整備が289件、79・4ヘクタールに設置されている。今後、施設整備に対し立地周辺住民の合意形成を図ることや景観を守るため、条例等を制定する考えはないか。

市長 太陽光発電を含めた「再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン」や「土地利用対策要綱」の制定に

向け協議中である。

子育て人材バンク設置 後の状況は

市長／今後の登録に期待

内園 有資格者で働いていない潜在保育士を発掘することで、保育環境を充実させ、子育てしやすいまちづくりを目指すべ

く「子育て人材バンク」を設置したが、保育士は何人必要か。また設置後何人が登録されたか。

市長 待機児童11名の解消を図るためには、最大8名は確保したい。保育所からの求人状況はその数を上回っている。また、登録者は現在1名である。問い合わせは多数あるので、今後の登録に期待したい。

その他の質問

・茶業振興について
・保健センター集約の見直しについて

**あなたのその資格
子ども達のために活かしてみませんか**

南九州市子育て人材バンクが設立されました！

市では保育所等の待機児童解消及び運営向上を図るため、「子育て人材バンク」を設立しました。人材バンクとは保育施設で働きたい方と雇用を希望している市内保育施設との橋渡しをする制度です。人材バンクの設立により、潜在保育士等の発掘、保育士等確保による保育・教育体制の充実が期待できます。この機会にぜひ保育施設での勤務を検討してみませんか？

■登録対象
①資格を持っている方（資格取得見込みの方）
保育士、保育教諭、幼稚園教諭、養護教諭、看護士、准看護士、栄養士、調理師、保健師、放課後児童クラブ支援員、放課後児童クラブ補助員、子育て支援員

■運用の流れ
①募集を行い、就労を希望する方が人材バンクに登録
↓
②保育施設側の求人情報を市が把握
↓
③就労希望内容と求人情報が合致した場合のみ、保育施設側に登録者を紹介（現時点で合致しない場合でも、今後求人を予定している保育施設側等が登録者を閲覧できることで雇用への発展に繋がるチャンスが大いにあります。）
↓
④保育施設が登録者へ連絡し合意に至れば就労
↓
⑤人材バンク登録者情報を抹消

■人材バンクのメリット
①資格を活かしたい方の就労のチャンスがあります。
②一日3時間だけ働きたい、週2日だけ働きたい等、短時間就労を希望する方の就労のチャンスがあります。
③保育士等を確保することにより保育施設の保育・教育体制が充実し、受入児童人数の増が期待できます。

〇問い合わせ先 南九州市役所 福祉課 児童福祉係
TEL.0993-56-1111 内線（4122）

土地改良区

市が雑種地等を 引き取る考えは

市長／相談があれば対応する



竹迫 毅 議員

竹迫 知覧町土地改良区は解散することになっているが、雑種地等の財産処分が完了しなければ解散できないとのことである。

特に行政主導で県営農地開発が行われた塩屋地区には雑種地等が多く、処分が思うようにできない状況であることから、市が引き取る考えはないか。

市長 解散には財産の清算が必要であり、市は雑種地の受け入れはしないとしている。今後の改良

区の動向を見守りながら相談があれば対応する。

費用弁償は距離に応じた支給を

市長／距離を基本に検討

竹迫 市内の費用弁償は一律500円となっております



知覧町土地改良区が所有する雑種地（赤で囲った部分）

り不公平である。財政面を考慮すると500円は現状と市開催地の校区内等は0円としたら現状の約半分で済むと思うことから、早急な改善が必要と思うが。

市長 費用弁償は、会議開催地への移動経費の金銭給付であることから、額を距離に応じ積算をすることを基本に、庁内での検討を進める。

建設業雇用対策

若者雇用対策は

市長／若者の県外流出に歯止めをかける取り組みを行う



大倉野 忠浩 議員

一クと連携し、若者の県外流出に歯止めをかける取り組みを行う。

大倉野 南九州市会計規則第40条に規定する公共工事等の前金払の請負代金額が500万円以上と規定されている。

これを引き下げる考えはないか。

市長 市の会計上の資金計画・資金繰りの関係上建設業者等には現行制度での運用を理解頂いている。

しかしながら、県をはじめ、他市でも500万円未満に設定しているところもあることから、設定金額の妥当性、昨今の事業者の経営状況等を調査研究し、金額の引き下げが可能かどうか検討する。

公共工事等で前金払可能な請負金額

(参考)

南九州市……500万円以上
鹿兒島県……100万円以上
薩摩川内市…100万円以上
日置市……100万円以上
南さつま市…300万円以上
枕崎市……300万円以上
垂水市……400万円以上

(H28.12月現在)

29年度予算

編成方針は

市長／事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進する



西 次雄 議員

中で、従来の事業体系を見直し、事業のスクラップ・アンド・ビルドを推進し、メリハリのある予算とすべく取り組んでいる。

西 29年度はどのような政策に重点を置く考えか。

西 平成29年度予算は、どのような編成を行い、どのような方針で作成する考えか。

市長 本市の財政運営は、地方交付税及び国・県支出金など依存財源が大きな割合を占めているなかで、普通交付税の一本算定への漸減に伴い、歳入の減が続いており非常に厳しい状況となっている。

29年度は、新規事業及び普通建設事業以外の経費は、一般財源の枠配分方式による編成を行い、歳入に見合った予算額の

自治体のPR動画の取り組みを問う

市長／動画の内容・作成を検討する

西 PR動画を観光や交流人口の増につなげている自治体も多く、ふるさと納税に対する意識付けにもなると考えるが本市の取り組みは。

市長 市区町村レベルで観光誘致や移住定住者獲得などのために活用が多くなっている。PR動画は本市の存在をアピールするコンセプトが重要で、内容・作成を検討し動画の発信方法なども検討したい。



「KKBふるさとCM大賞2016」でアイデア賞を受賞!

太陽光発電

治水対策は

市長／ガイドライン等制定に向け
協議中



加治佐 民生 議員

されるところ。

加治佐 太陽光発電設備の設置により、大雨の際に道路や農地への土砂流入、河川の急激な水位上昇による災害が懸念されるが、その対策はどう考

えているか。

市長 太陽光発電を含めた「再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン」や「土地利用対策要綱」の制定に向けて現在関係課で協議中である。

【ガイドライン】政府や団体が示す指針・指導目標



太陽光発電設備

県の再生可能エネルギー導入ビジョンによると増加傾向にあると予想されるが、今後の国のエネルギー政策に大きく左右

本市財政に寄与していると思うが、今後の設置動向をどう見ているのか。

市長 平成28年度の太陽光発電に対する固定資産税額は、約1億1800万円で前年度と比較して約5100万円の増となっている。

小学校の統廃合

小規模小学校の 存続に対する考えは

教育長／平成29年度に「南九州市小学校のあり方検討委員会（仮称）」を設置し協議する



浜田 茂久 議員

ば、子ども達の成長を第一に考え、丁寧な協議と真摯な対応を考える。

浜田 地方創生、移住・定住事業の推進と児童の心と体の調和のとれた人間育成、魂の教育を確実に実践できる視点等から小規模小学校の存続へ所見を問う。

教育長 平成29年度より鹿児島大学と連携して小規模校における教科等の実践的な指導方法等の検討を行う小規模校の活性化を図る取り組みや「南九州市小学校のあり方検討委員会（仮称）」等を設け協議を行う。地域から再編の要望が上げられ



松原小学校

介護分野における留学生の養成校を設置する考えは

市長／積極的誘致は考えていない

浜田 国の法改正など、介護職における外国人労働者拡大の動きが活発化している。フィリピン文科省・イフガオ看護大学職員等が本市を訪れ、顕娃看護学校跡地での養成校開設の希望を伝えたが、誘致への考えを問う。

市長 学校跡地への養成校誘致は、廃止に至った経緯を考慮し、現在考えていないが、各方面からの利活用要請については、その適正を熟慮し、対応を検討する。

副市長 申請書が提出されたら検討すると思う。

浜田 本県出水市は、小中学校の統廃合をやらないう政策で、看護学校も守りぬいた。本市も出水市に学べ。

川辺清掃センター 未処分焼却灰

平成29年度にボーリ ング調査の実施を

市長／予算の状況を踏まえて
検討する



日置 友幸 議員

踏まえて検討する。

男女共同参画の専 門部署設置を

市長／設置する考えは
ない

日置 男女共同参画を専
門に扱う課や係の設置を。

市長 効果的で効率的な
組織再編を行っている。

日置 川辺清掃センター
未処分焼却灰の正確な体
積、重量、状態を把握す
るために平成29年度に、
ボーリング調査費を予算
化する考えはないか。

市長 市全体の予算状況
を踏まえ、総合的に判断
する。

日置 予算策定中なので
明言はできないだろう
が、ニュアンスだけでも
示せないか。

市長 できるだけ早く予
算の検討が必要だ。平成
29年度にできればと考
えているが、予算の状況



議員の男女共同参画研修

専門部署を設置する考
えはない。

日置 他自治体や民間事
業者の動向を見ると、男
女共同参画はトップの旗
を振る力がそのまま推進
力になっているように感
じる。男女共同参画の取
り組みについて市長の考
えを問う。

市長 日本全国どこで
も、男女平等ということ
は、そういう状況にある
と思う。新たに課や係を
設ける必要はないと考
える。

その他の質問
・女性の管理職登用

議会を 傍聴してみませんか

次の議会は**2月21日(火)**開会予定

*手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

3月定例会

- | | |
|-------|--------------|
| 2月21日 | 本会議（開会）施政方針 |
| 27日 | 常任委員会 補正予算審査 |
| 3月 7日 | 本会議 一般質問 |
| 8日 | 本会議 一般質問 |
| 9日 | 本会議 一般質問 |
| 10日 | 常任委員会 当初予算審査 |
| 13日 | 常任委員会 当初予算審査 |
| 15日 | 常任委員会 当初予算審査 |
| 24日 | 本会議（閉会） |



◆議会中継◆

インターネット配信または各支所ロビーでご覧いただ
けます。

所管事務調査を実施!!

所管事務調査とは！？

市議会では議員を3つの委員会に割り振り行政の取り組みを審査しています。財政や企画等を取り扱う総務常任委員会。教育や福祉等を取り扱う文教厚生常任委員会。産業や道路整備等を取り扱う産業建設常任委員会。以上3つの委員会は、議会閉会中の期間を使い所管する事項について調査を行います。これを所管事務調査と言います。

各委員会は市内にて調査を行い、12月議会で提言を行いました。提言が長文のためここではその内容を要約し、報告いたします。

総務常任委員会

自主防災組織の現状と課題について

提言

- ・自治会の活動とは別に自主防災組織の代表者を立てて、年間計画と予算を作成するよう指導啓発していくこと。
- ・地域防災リーダー養成講座等の受講者に対して経費の一部を助成するよう検討すること。
- ・平地の自治会は自然災害に対して危機意識が希薄なことから、災害訓練の重要性を繰り返し啓発し、災害発生時に備えて消火栓や自然水利の確認と、要支援者や独居老人等の状況確認を行うよう啓発すること。

産業建設常任委員会

農業用施設の現状と今後の対策について

提言

- ・国に対して小規模農家の多い地域への対策を講じるよう求めるとともに、市として農業用施設の機能保全の重要性を認識し、今後の方針や支援策を盛り込んだ次段階の整備計画の策定を検討すること。
- ・高収益作物への転換を支援するため、補助事業等を活用し暗渠施設の整備促進に努めること。
- ・受益者に対して施設の更新の必要性及び更新に伴い生じる受益者負担について理解を得るための施策を講じること。



文教厚生常任委員会

高齢化と老人福祉施設について

提言

- ・高齢者数が今後数年でピークを迎えることから、介護サービスの需給バランスが損なわれることのないよう計画の策定に努めること。
- ・24時間見守り体制を目的とした定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者は、事業者と連携し、持続的なサービスが提供できるよう体制の確保に努めること。
- ・老人福祉施設の雇用確保が困難であることから、雇用確保が図れるよう支援はできないか検討すること。

8月

行政に説明を求めるなど、課題把握に努める。



10月－11月

関連施設・団体の調査を行い、提言をまとめる。



12月

調査に基づき作成した提言を議会で行政に示す。

今回の所管事務調査から提言までの流れ

6 地区・校区公民館にて

市民参加や情報公開など開かれた議会を進めるため、3回目の議会報告会を6地区・校区公民館で開催しました。議員を3班に分け対応し、延べ135人に参加いただきました。

10月24日 高田校区公民館 参加者20人

◎テーマ 移住定住対策について

【主な意見】

- ・空き家対策などの住宅政策で子育て世帯の確保をしてほしい。
- ・台風16号災害の対応（床上浸水など）を早急にしてほしい。



10月25日 大丸校区公民館 参加者23人

◎テーマ 新広域ごみ処理場計画と
川辺清掃センターの後処理について

【主な意見】

- ・焼却灰処理については、多額の経費が伴う。しっかりとした計画を立てて、今後の取組みの方向性を示してほしい。
- ・台風16号災害の対応（国道225号線の冠水など）を早急にしてほしい。

10月26日 上別府地区公民館 参加者6人

◎テーマ 穎娃地区中学校の再編状況について

【主な意見】

- ・学校跡地利用について、校庭は活用可能であるが、校舎は活用法がない状況である。市はどのような対応を考えているか。
- ・移住定住について、地元の若者が出身地になかなか住めない。独自の政策を研究し、地元に住めるような政策を考えてほしい。



11月8日 勝目校区公民館 参加者23人

◎テーマ 若者の定住と企業誘致対策について

【主な意見要望】

- ・若者の移住定住の観点から、子育て環境の整備をさらに推進してほしい。
- ・河川愛護活動を実施できない、今後継続が困難な自治会が多いことから、河川愛護の支援や新たな方法を検討してほしい。
- ・老朽化の進む川辺分遣所を早期に整備してほしい。

議会報告会開催



11月17日 中福良校区公民館 参加者38人

◎テーマは設けず

【主な意見】

- ・農産加工施設において、今後の利用と対応について説明を受けたが、協議する場が無く一方的な説明であった。協議する場を作り、検討・協議してほしい。
- ・夜間議会や日曜議会を開催してほしい。

11月24日 霜出校区公民館 参加者25人

◎テーマ 議員定数について

【主な意見】

- ・人口、他市との比較、財政、委員会構成いろいろあると思うが、定数を減らすべきだ。
- ・福祉課と社協とで、業務が重複している。（福祉アドバイザーと地域見守り隊）今後の在り方について提言してほしい。



重点要望事項（市長へ提出）

1. 移住定住対策については、これまでも各種支援策に取り組んでいるが、さらに子育て支援に努めるとともに若者の定住に向け、空き家の活用などの施策を充実させていただきたい。
2. 施設の統廃合や利用方法の変更などについては事前に受益者や地域住民に十分な説明を行い、理解を得られるように努めていただきたい。
3. 川辺清掃センターの焼却灰の処理については、多額の経費が必要となることから、長期的な計画を立てて、今後の取り組みの方向性を示していただきたい。

市

民

の

声



知覧町 瀬世

久本昇志

議会に思うこと

退職したらここに住もうと決めたのが十数年前、そして南九州市知覧町に移住してきてもうすぐ4年になります。

テーマを何にしようと思いつつ、せっかくの「市民の声」だから議会に対してひと言書かせていただきます。

これまで開催された一回目から三回目までの議会報告会、議員との意見交換会に出席しましたが、議員個人の意見が多く、私は議員個人の考え

は、議員個人宅でも話を聞けばいいと思います。議会は、行政側と対する機関です。南九州市議会は、20人の議員の合議体であり、議員個人の意見ではなく、議会としての意見を聞きたいということです。

今回もこの文字どおりの「議員との意見交換会」に終わって残念な感じでした。せめて会派を作って、日常の活動から市民に知らせて意見を聞く「意見交換会」を開き、内容によっては議会の意見、会派の意見として話してはどうでしょうか。

また、5年後10年後の南九州市をどうするか、行政はこう考えているが、議会としてはこうだ、会派としてはこうしていくと答える場となることを期待します。それが市民との意見交換と思

います。

今までの「市民の声」も含めて、どう活かせるのだろうか。せっかくの意見を出していただいたのなら、その成果をあげてもらいたいと思います。



額娃町 御領

園田純廣

美しい

故郷での暮らし

ここ額娃町で私は生まれ育った。

県内で学生生活を送り、二十五年間関西で働いた。

美しい自慢の故郷は忘れがたく、できることな

ら定年前に帰省したいといつも考えながら子育てをし、五十歳で故郷へのUターンの夢を実現することができた。

額娃町の自然は美しいとしみじみ思う。番所から眺める開聞岳、大野岳から三百六十度の大パノラマ、新年の暦にいつも採用されてきた瀬平公園、海、山とも絶景である。

現在は、自分の娘と孫計6人で暮らしている。海岸や磯での釣りやミナ探り、マキ割りや薪採り、ヨモギを摘みでの餅つき、コマ回しや風揚げ、模型飛行機作りなど、孫たちには昔からの伝統的な暮らし、私たちの子ども時代のことを体験させたいと思う。

この美しい自然も時代の変化にはついていけないのだろうか。山や海、川の生き物が減って

きたという気がしてならない。

自然破壊や生命体の減少は人間の新しい生活スタイルが招いたものかもしれない。ゲームやネット環境に引きこまれていく子どもたちを危惧する。

孫たちと山や川や海で遊んだり、陸上競技場で競走したり、テニスを楽しんだり、この美しい故郷での暮らしを続けていきたい。



番所鼻公園から臨む開聞岳 ～絶景祭り～

編集後記

年が明けて初めての議会だより、改めて新年のご挨拶申し上げます。

私たち広報委員の活動も早いもので一年が過ぎ、新年を迎え、新たな気構えで紙面づくりに取り組みなればと思っております。

今年は酉年です。酉は、果実が成熟の極限に達した状態を表すと言われる、また、運や御利益をトリこみ、充実した1年が期待できるのが酉年とも言えます。

ぜひ、そんな年になって欲しいものです。本年も南九州市議会だよりをよろしく願います。

(満留)

▼広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西 次雄 |
| 副委員長 | 鮫島 信行 |
| 委員 | 日置 友幸 |
| | 大久保太智 |
| | 浜田 茂久 |
| | 満留 秀昭 |